

分野：⑧、⑩、

## 「 私たちの責任 」

環境アドバイザー

上領 園子

対象

ゆずの里ケーブルテレビ契約者と  
役場ロビーで見た人

所要時間



15分

場所

ゆずの里ケーブルテレビ内

実施時期

令和3年6月1日  
～6月30日

## 概要

予測されている将来の気温や財務省発信のグラフから国の財政赤字、原発からの廃棄物処理の負担を未来世代に対して多大な負荷を残すことの認識。京都議定書、パリ協定での日本の取り組みと他先進国の取り組みの差  
気候対策は生活の質を高める

プログラムの  
ねらい

多くの負荷を将来世代へ残す結果となっている。  
その軽減のために今生きている者の責任として認識し、これからの生活を考えるきっかけになること

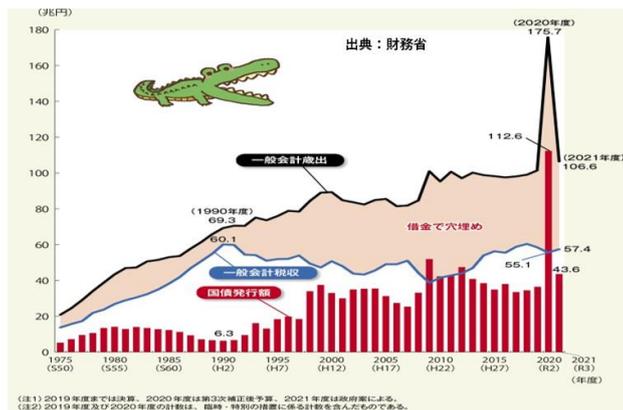
## プログラムの内容

- 1 アメリカ地球物理学連合の論文から
- 2 財務省発表 国の借金のグラフ
- 3 原発とその廃棄物の始末
- 4 原子力発電所の現状の図
- 5 気候変動について世界中の国々で話し合ってきた
- 6 京都議定書
- 7 日本の取り組み
- 8 パリ協定
- 9 日本の取り組みと諸外国との比較
- 10 菅義偉首相 新目標発表
- 11 英国・EUの目標と1.5℃目標に整合しない日本の目標
- 12 気候変動対策は生活の質を高める

## 受講者の反応

日本の取り組みが遅れていると聞いていたけれど、こんなだったとは驚いた。

## 環境学習の様子（写真）



- つまり、収入より支出が多くて借金をしてまかなっているということです。
- それで鰐のくちが大きく開きっぱなしになっていると説明がされています。
- 原発とその廃棄物の始末です。日本にはこんなにも沢山の原子力発電所があります。
- そこから出た多くの廃棄物、つまりごみは高い放射線を発します、安全になるまでには何十万年もかかるものもあります。
- 原発を動かせばそんなごみが増えていきます。まだそのごみの処理方法は決まっています。
- 将来世代にはなんの恩恵も受けずにこのごみの始末をしなければなりません。